

令和6年 7月 18日

長野県知事 様

## 令和6年度長野県産業廃棄物3R実践計画書

下記のとおり、産業廃棄物3R実践計画書を提出します。

|                             |                                  |                       |
|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------|
| 協定期間                        | 令和6年度から 令和7年度                    |                       |
| 会社名                         | 株式会社ツカモト                         |                       |
| 住所                          | 〒391-0216<br>長野県茅野市米沢3737-5      |                       |
| 代表者名                        | 代表取締役 塚本 英紀                      |                       |
| 業種                          | 建設業                              |                       |
| 処理施設<br>所在地<br>(処理施設を有する場合) | 施設名                              | 所在地                   |
|                             |                                  |                       |
| 担当部署                        | 総務                               |                       |
| 担当者名                        | 平澤 あゆみ                           |                       |
| 連絡先                         | TEL                              | 0266-55-1226          |
|                             | FAX                              | 0266-78-9935          |
|                             | 電子メールアドレス                        | a.h@s-tsukamoto.co.jp |
| ホームページアドレス                  | https://www.tsukamoto069-18.com/ |                       |

## 1 産業廃棄物3R実践方針

初年度ということで、まずは3R実践協定について全社員で理解することを目  
標とする。

## 2 排出抑制、リサイクルのための目標値及び過年度実績値

|                                     | 6年度目標値      | 5年度実績値      | 4年度実績値      | 3年度実績値     |
|-------------------------------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 総排出量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> )   | 120         | 123         | 78.5        | 0          |
| リサイクル量の推移<br>(t・kg・m <sup>3</sup> ) | 120         | 123         | 78.5        | 0          |
| 売上高の推移<br>(円)                       | 250,000,000 | 238,585,582 | 205,642,827 | 87,485,282 |

### 3 排出抑制、リサイクルのための取組内容

- 1、 現場ごとマニフェストを集計し、廃棄物の種類及び排出量を各現場担当者や各従業員が把握できるようにする。また現場担当者は、現場ごと処分場の現地確認を実施。
- 2、 令和7年度終了までにエコアクション21の取得を目指す。
- 3、 電子マニフェストの検討。
- 4、 排出抑制について、各現場の新規入場教育等で現場入場者全員で考える場を設ける。

以下の観点も参考としていただいで構いません。（必要に応じ写真等を添付してください。）

- ・産業廃棄物処理責任者等
- ・産業廃棄物の種類、排出量、処理量、処理の方法等に関する情報公開
- ・産業廃棄物処理施設の地域への公開、説明（処理施設を有する場合）
- ・処理を委託する処理業者（施設）の現地確認計画
- ・従業員教育（研修）計画
- ・リサイクル促進に向けた取組（計画段階、実施段階での工夫など）
- ・処理委託した廃棄物について、不法投棄・不適正処理が生じた場合の排出事業者責任の徹底
- ・不適正処理を発見した場合の協力体制
- ・自社処理廃棄物の管理方法（自社処理を行っている場合）
- ・独自に取り組む事項

代替素材への転換（化石燃料由来プラスチック製品等からバイオマスプラスチックなど環境負荷の低い素材や製品へ転換していくこと）、環境認証制度等の取得（環境 ISO 14001、エコアクション 21 等）、電子マニフェスト（公益財団法人 日本産業廃棄物処理振興センター）の導入等。

### 4 リサイクル製品使用率目標値

※リサイクル製品使用率＝リサイクル製品（材料）使用量／全体材料使用量（％）

| 製品（材料）種別 | 当年度目標値 | 過年度実績値 |        |        |
|----------|--------|--------|--------|--------|
|          | 6年度目標値 | 5年度実績値 | 4年度実績値 | 3年度実績値 |
| アスファルト合材 | 100    | 100    | 100    | 100    |
| 再生砕石     | 100    | 100    | 100    | 100    |
|          |        |        |        |        |
|          |        |        |        |        |
| 全体       | 100    | 100    | 100    | 100    |